

- ② ふくしの集い／防災学習会
- ③ 年頭のあいさつ／赤い羽根街頭募金
社協会費納入のお礼
- ④ 年末弁当／稲穂会／サンタクロース
- ⑤ たかぎボランティア・地域活動情報誌さくみち
- ⑥ おしらせ／3か月の予定／職員の一言

●編集・発行● 社会福祉法人喬木村社会福祉協議会 〒395-1107長野県下伊那郡喬木村6670-1 TEL 0265-33-4567 FAX 0265-33-4619
Eメールアドレスtakagi-shakyo@miracle.ocn.ne.jp(代表) ホームページアドレス <http://takagi-syakyo.com/>
●印 刷● 龍共印刷株式会社

ふくしの集いを開催しました

～「みんながいるから大丈夫だよ」といえる地域をめざして～



12月7日（日）喬木村福祉センターにて「ふくしの集い」を開催しました。

この「ふくしの集い」は、地域住民の皆様には福祉を身近に感じてもらい、福祉に対する理解を深めてもらいたい。そして、「お互い様」と言いあえるやさしい地域をつくっていきたいという思いから、今回初めて開催をしました。

今年度は、『「みんながいるから大丈夫だよ」といえる地域を目指して』をテーマに掲げ、発達障害についてみんなで考えようと、信州大学医学部子どものこころの発達医学教室の新美妙美先生を講師にお招きし、講演会を行いました。また、村内外の福祉事業所についても地域の皆様に知ってもらう機会にしたいと、福祉事業所にもご協力をいただき、出店や展示を行うことができました。

当日は、村内外から約120名の幅広い年代の方々にご参加をいただき、住民の皆様の関心の高さがうかがえました。

この「ふくしの集い」をきっかけに福祉や発達障害について少しでも考える機会になれば幸いです。詳しくは、次頁に掲載します。

この事業は、住民の皆様からいただいた赤い羽根共同募金の配分金を活用させていただきました。



ふくしの集いレポート

講演 『発達障害キホンの「キ」

～発達障害があってもダイジョウブナントカナル～

講師 信州大学医学部 子どものこころの発達医学教室 特任教授 新美 妙美 氏



新美妙美先生による講演会では、発達障害の特性や、少数派ゆえの苦勞など発達障害の基本についてのお話に加え、発達の個性が強い子どもの育て方や大人の発達障害についてお話をいただきました。

「発達障害を治そうと思って受診をしないで欲しい。病院は、その子らしく生きてもらうためのサポートをする場である」「発達障害の特性により、仲間外れや、自分は悪気がないのに怒られたり、世の中の偏見で苦しくなる人がたくさんいる」「発達障害のある人を排除するのではなく、いろんな人がいて楽しいなと思えるといい。世の中の偏見がなくなれば発達障害の診断もいらなくなる」など、とても印象に残るお話を聴くことができました。

この講演を通して、発達障害を病気や障害としてとらえるのではなく、個性として認め合い、偏見や排除のない誰もが生きやすい社会になるように、価値観を変えていくきっかけになればと思います。

参加者の声

大人も子どもも発達障害で生きづらい思いをされている方が多いと思う。周りの理解、関わり方、環境で少しでも生きやすい社会になっていったら良いと思う。

発達障害の親の立場として、とても前向きになる事ができた。「できないこと」がフォーカスされる毎日だったので、心が楽になれた。こういった講演を是非とも発達障害の子ども本人や、学校の先生にも聴いてほしいと思った。

昭和の価値観ではなく、地域全体が令和の価値観をもって（合理的配慮、孤立させない、しからない etc.）みんなが暮らしやすい地域になれば障害が障害ではなくなる。

福祉事業所出店・展示コーナー

いずみの家、ユアサポートばっば、ばけっと、喬木悠生寮、サン・アイ、マストの皆様に出店や展示のご協力をいただきました。



福祉事業所によるパンや手づくりのマスコット品などの販売をしていただき、大盛況でした。



福祉事業所の作品や福祉用具事業所の展示を行っていただきました。



防災学習会 備蓄食品の大切さ ～家族で災害時においしく食べる工夫や試食～

日時 令和 8 年 2 月 12 日 (木) 18:30 ～ 19:30
場所 アスボ 会議室
講師 社協防災士
定員 先着 20 名
参加費 無料



災害時も食べることは楽しみの一つです。普段から味を知っている食材は安心でき、身体も落ち着きます。普段の在庫品や食材を災害用に備えませんか。実際に試食をして味見をします。併せて購入先や保管方法も考える機会にしましょう。

☆参加ご希望の方は電話または二次元コードからお申し込みください。 社協電話 33-4567

年頭のご挨拶

喬木村社会福祉協議会 会長

座光寺 秀 元

新年あけましておめでとうございます。平素より社会福祉協議会の活動に対し、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。令和8年は干支の「午（うま）年」を迎えます。馬が力強く大地を駆け抜ける姿に重ね、本会も地域の皆様と共に前進し、誰もが安心して暮らせる社会づくりに力を尽くす1年としたいと存じます。昨年を振り返りますと、少子高齢化の進展や地域コミュニティの変容など、福祉を取り巻く環境は大きく変化しました。介護現場では人材不足や利用者ニーズの多様化など、厳しい課題にも直面しております。しかしその中にあっても、住民の皆様、民生児童委員、ボランティア、福祉関係機関・団体の皆様が「誰一人取り残さない」という思いを胸に、それぞれの立場から地域福祉推進にご尽力いただいたことに深く感謝申し上げます。本年も喬木村社会福祉協議会は「地域福祉の推進役」として、住民主体の「支え合い・助け合い」の地域づくりを進めてまいります。特に、介護事業が抱える苦悩や課題に向き合い、地域全体で支える協力体制をさらに強化してまいります。日常生活の困りごとに寄り添い、制度の狭間にある課題にも柔軟に対応できる支援体制の整備に努めます。また、福祉教育の充実と地域活動への参加促進を通じて、次代を担う子どもから高齢者までが「福祉の心」を育み、共に支え合える社会づくりを目指します。結びに、皆様の変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、健やかで希望に満ちた1年となりますよう心より祈念申し上げます。



赤い羽根共同募金 街頭募金活動を行いました

～ご協力ありがとうございました～



11月29日（土）A・コープたかぎ店様にご協力をいただき、店頭にて喬木中学校の生徒2名と、飯田風越高校の生徒5名の皆さんと、赤い羽根共同募金の街頭募金活動を行いました。

生徒の皆さんの募金と呼び掛ける大きな声に、「頑張ってるね。」と地域の方から優しい言葉と共に、あたたかいお気持ちの募金をいただきました。

今回の街頭募金では**募金総額26,756円**が寄せられました。募金にご協力いただいた地域の皆様、また募金活動に協力してくださった生徒の皆さんに厚く御礼申し上げます。ご協力いただいた募金は、すべて長野県共同募金会へ送金し、災害時の支援や地域福祉のために活用されます。

令和7年度社協会費納入のお礼

社会福祉協議会費納入にあたり、村民の皆さまをはじめ企業・団体の皆様からご理解とご協力をいただきありがとうございました。皆様からの会費は、地域福祉活動の財源として大切に使用させていただきます。紙面をお借りしてお礼申し上げます。（R7,12月末現在）

令和7年度社会福祉協議会費納入内訳

会 費 区 分	金 額	件 数
一 般 会 員	1,477,500 円	1,478 件
特 別 会 員	570,000 円	57 件
賛 助 会 員	168,000 円	45 件
合 計	2,215,000 円	

ご協力いただきました令和7年度賛助会員（法人）の皆様

(株)アークル、(株)アジマ自動車学校、(株)いとう、(株)一期屋、伊藤製菓(有)、飯田信用金庫、飯田精機(株)、(有)内山自動車钣金、(株)エージー、(株)オートパルいいだ、(有)大原管工、小木曾建設(株)、大平建設(株)、(有)協立電気商会、喬米産業(株)、(株)クリーンサービスナンシン、(有)久保田陶器、神稲建設(株)、(株)コバックス、(有)コヤマ宮繕、(株)佐藤左官工業所、(有)信濃ビルクリーニング、(有)新栄樹脂、(有)信州フルーツ合衆国、喬木村商工会、第一チキン(株)、筒井園芸(有)、(株)東登、(農) 富田農産加工組合、(有)ナンシングリーンカラー、(株)長野県A・コープ、(有)長野索道、中川建設(有)、(有)仲田創房、(株)日本屋、日本郵便(株)、野島建設(株)、(株)はやし、原建設(株)、(株)原建築店、飯伊トラック事業 協同組合、飯伊森林組合、(有)ピカイチ、(株)フジモト自動車、(株)平安、(有)べんてん、北部タクシー(有)、(株)マツザワ、(株)松澤、(有)マルトモ、みなみ信州農業協同組合、医療法人 三浦医院、(有)宮下土建、(有)吉川建設工業、吉川建設(株)、(株)ライフネクト、(有)綿治硝子店（敬称略）

宮下泰広さん



稲穂会 (一人暮らし高齢者の集い) 赤い羽根共同募金配分金事業

10月24日(金)にみんなの広場アスポにて「稲穂会」を行いました。今回は飯田市上郷で健康教室を開いている宮下泰広さんをお招きして「脳活教室」を行いました。『日々の生活を豊かにするのは笑いがあること。「楽しい」「うれしい」こういった感情を理解して、初めて「笑う」ことができる』と話すと、参加した皆さんからは、うんうんとうなずいている様子が見られました。参加者からは「一人暮らしは話す相手や笑う相手がなくて、一日暮れてしまうこともあるけれど、こうして皆さんと一緒に笑うことができて幸せでした」と感想を寄せてくれました。

座学の後には、座光寺「うなぎや」のうなぎ重弁当に舌鼓を打ち「こんなに食べられるかなあ、うれしいな」と笑みを浮かべながら、楽しく交流を深めました。

来年は、バスハイクを計画中です。お楽しみに♪



喬木村のサンタクロースから クリスマスケーキをプレゼント

今年で4回目となる、クリスマスケーキのプレゼント。ひとり親家庭にクリスマスケーキをプレゼントしたいと、喬木村のサンタクロースから杜協へご寄付をいただき、12月20日と22日に希望するご家庭へクリスマスケーキのお渡しをしました。受け取りにくてくれた親子にケーキを渡すと、「ありがとう。」とうれしそうな表情をみせながら受け取っていく子どもたちの姿が印象的でした。

喬木村のサンタクロースは、「喜んでもらえて、うれしい顔を見られればそれで十分です。」と話してくれました。毎年、このような寄付をいただき、サンタクロースに感謝申し上げます。きつと、みなさん素敵なクリスマスをお過ごしのことと思います。

赤い羽根共同募金配分金事業

ひとり暮らしの方へ 年末弁当配布

今年度より85歳以上のおひとり暮らしの方へ、心豊かな年末年始を過ごして頂きたいと願いを込めて、12月26日(金)に年末弁当を民生委員の皆さまより届けて頂きました。お弁当に添えたメッセージカードは、児童クラブの子どもたちから「心を込めて描いてくれました。受け取られた方から「子どもたちと、民生委員の皆さんの気持ちがこもった温かいお弁当だなあ」と目を細められ、感想を寄せてくれました。

最後に、この事業は、赤い羽根共同募金を活用して実施させていただいております。地域の皆様からのあたたかな募金でこのような事業が実施できましたことに感謝申し上げます。



学遊館の子どもたちが一生懸命描いてくれました



おいしそうなお弁当にメッセージカードを添えて



たかぎボランティア・地域活動情報誌

さくみち



令和8年1月発行

編集・発行

喬木村社会福祉協議会

ボランティアセンター

Tel33-5520

fax33-5330

謹賀新年

新年あけましておめでとうございます。

喬木村ボランティア連絡会は、平成二十八年の発足以来、本年で十周年という節目の年を迎えます。これもひとえに、日頃より地域のボランティア活動の発展と温かい地域づくりに多大なるご尽力をいただいている皆様の熱意とご協力の賜物と、心より感謝申し上げます。

ボランティア連絡会は、本年の干支である「午（うま）」のように、一步一步、力強く進み続け、喬木村のボランティア活動をより盛り上げていきたいと存じます。

今年一年もどうかよろしくお願い申し上げます。

ボランティア連絡会会長 木下美幸



学校がピカピカに！

「ぞうきんお届けプロジェクト」ご協力のお願い

「手作りの雑巾で、子どもたちに気持ちよく清掃してほしい」



この企画は「保護者の準備負担を軽減し、お子様と向き合う貴重な時間としていただければ」との想いも込められています。

「皆さんと一緒にぞうきん作りをしませんか」

日時：1月29日（木）9:30～12:00まで

場所：みんなの広場アスポ「フリースペース」

どなたでも参加できます。（途中参加、退室自由）

持ち物：裁縫道具、はさみ 等

自宅でもできる活動です。多くの方のご協力をお待ちしております！

ボランティア情報誌「さくみち」

喬木村のボランティア活動に関わる情報や地域活動などの様子をさくみち編集委員会で編集し、毎月発行しています。

皆様からボランティア活動の様子を知らせていただき、紙面に反映させていきます。活動をより充実させるために「さくみち」を活用ください。 さくみち編集委員会

ボランティア活動について

ボランティアセンターでは、ボランティア活動を始めたい方、または、ボランティアをお願いしたいなどの相談を受けています。ボランティア活動の第一歩は、「何か貢献したい」「こんな活動に挑戦してみたい」という自発的な気持ちです。

ボランティア活動に興味をお持ちの方、お気軽にご相談ください。

ボランティアコーディネーター

第6回 アスポ歌声喫茶 開催



ギターの演奏に合わせて季節の歌や昭和の流行歌を歌います。



開催：令和8年1月28日（水）

時間：10時30分～11時30分

（※10時～コーヒータイム）



場所：みんなの広場アスポ

参加費：100円

デイサービスセンターふれ愛 新しい機械浴槽の導入

デイサービスセンターふれ愛では、22年間大切にしてきた機械浴槽を撤去し、新しい機械浴槽の導入をしました。長年地域の皆さまに支えられながら、多くの利用者様の入浴をお手伝いしてまいりましたが、利用者様がより安全で安心して入浴でき、職員の身体的な負担軽減になるよう新たに入浴環境を整えました。

新しい浴槽は、寝たままの姿勢でも身体への負担が少なく、これまで以上にゆったりと足を伸ばして気持ち良く安心してご入浴頂けます。

新しい浴槽を導入したことで、利用者様お一人ひとりの身体の状態に合わせた心地良い入浴ができるよう、スタッフ一同で取り組んでまいります。

不安な事や
ご不明な点
等、どんな小
さい事でもお
気軽にご相談
ください。



1月の予定	結婚相談	17日(土)	19:00~20:00	社協会議室(予約制)
	なずな予防カフェ	27日(火)	10:00~12:00	アスポ
2月の予定	心配事相談	6日(金)	10:00~12:00	福祉センター
	結婚相談	21日(土)	19:00~20:00	福祉センター(予約制)
	なずなカフェ	10日(火)	10:00~12:00	アスポ
	なずな予防カフェ	24日(火)	10:00~12:00	アスポ
3月の予定	心配事相談	6日(金)	10:00~11:00	アスポ
	結婚相談	21日(土)	19:00~20:00	福祉センター談話室(予約制)
	なずなカフェ	10日(火)	10:00~12:00	アスポ
	なずな予防カフェ	24日(火)	10:00~12:00	アスポ

高齢者クラブ連合会 婦牛原支会様より、福祉施設へのタオル寄付を頂きました。
この場を借りて感謝いたします。

小学校の頃、読書週間や授業で本を読む機会がありましたが、当時の私は読書が大の苦手でした。その理由は、落ち着いて座っていることができないという、いかにも子供らしいものでした。

そんな私にも、唯一夢中になって読んだ本があります。それが椋鳩十の動物文学です。表紙のたくましい動物の姿に魅了されて読み始めました。椋鳩十の作品は、自然の厳しさ、野生動物の生命力、そして人間と自然の関わりを鮮やかに描き出しています。じっと座っていることが苦手だった私を、その迫力ある世界観が夢中にさせたのです。

喬木村に勤めて16年になりますが、入社1年目の時、喬木村をより深く知るために椋鳩十の作品を購入しました。その本は、今でも大切な宝物として保管しています。

椋鳩十は「母と子の20分間読書運動」を提唱し、全国に読書運動が広がるきっかけを作りました。読書の時間が、皆様にとって「思い出の一冊」と出会える素晴らしいきっかけとなることを願っています。(K.N)

職員
の
ひ
ろ
い
つ



ご意見・ご要望を
お寄せください

社会福祉法人 喬木村社会福祉協議会

電話 0265-33-4567 fax 0265-33-4619

Eメールアドレス takagi-shakyo@miracle.ocn.ne.jp(代表)

